



平成20年10月27日

各 位

会 社 名	日本電産株式会社
代表者名	代表取締役社長 永守 重信
取 引 所	東証一部・大証一部 (6594) NYSE (NJ)
問合せ先	広報宣伝部長 田村 徳雄
T E L	(075) 935-6150

当社子会社4社の平成21年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である日本電産サンキョー株式会社(コード:7757 東証)、日本電産コパル株式会社(コード:7756 東証)、日本電産サーボ株式会社(コード:6585 東証)、日本電産リード株式会社(コード:6833 大証)は、平成21年3月期第2四半期業績予想を別紙の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

平成20年10月27日

各位

会社名 日本電産サンキョー株式会社
 代表者 代表取締役社長 安川 員仁
 コード番号 7757 (東証第一部)
 所在地 長野県諏訪郡下諏訪町5329
 問合せ先 経理部長 上原 敏典
 電話 (0266) 27-2999

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年4月23日に公表した平成21年3月期第2四半期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の連結・単独業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

1. 平成21年3月期 第2四半期連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表(A)	55,000	4,500	4,500	2,500
今回修正(B)	58,135	5,037	6,384	4,902
増減額(B-A)	3,135	537	1,884	2,402
増減率	5.7%	11.9%	41.9%	96.1%
前期実績	53,038	4,139	4,250	3,261

2. 平成21年3月期 第2四半期単独業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表(A)	38,000	2,300	3,500	1,500
今回修正(B)	40,146	2,877	4,970	3,882
増減額(B-A)	2,146	577	1,470	2,382
増減率	5.6%	25.1%	42.0%	158.8%
前期実績	34,703	2,114	3,065	2,867

3. 修正の理由

【連結】

売上高については、レンズアクチュエータ、ステッピングモータ、モータ駆動ユニット、ロボット等が当初予想に対して増収となったことによるものです。営業利益については増収効果によるものであります。又、経常利益については営業利益の増加に加えて、為替差益が増加したことによるものであります。当期利益については経常利益の増加に加えて、税効果会計の認識による法人税等の減少によるものであります。

【単独】

単独業績の修正については、連結業績の修正事項による単独への影響を反映したものであります。

以上

平成20年10月27日

各位

会社名 日本電産コパル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 井澤 茂
 (コード番号 7756 東証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 米田 敬智
 TEL 03-3965-1111 (大代表)

当社の親会社 日本電産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 永守重信
 (コード番号 6594 東証・大証第1部)

平成21年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年4月23日の決算発表時に公表した平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成20年4月23日発表)	百万円 43,000	百万円 3,800	百万円 3,800	百万円 2,500	円 銭 39.77
今回修正予想(B)	45,011	4,008	4,103	2,774	44.14
増減額(B-A)	2,011	208	303	274	4.37
増減率(%)	4.7	5.5	8.0	11.0	11.0
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	43,067	3,472	3,611	2,644	42.07

修正理由(連結)

第2四半期累計期間につきましては、デジタルカメラ用シャッターは、前期末からのメーカー各社の在庫調整が長引いたことにより、売上減少となりました。一方、デジタル一眼レフカメラ用鏡筒切削部品並びにブルーレイ収差補正ユニットは売上増となりました。また、モーターは携帯電話用振動モーター、高付加価値複合モーター(モーター+ギア、センサー等)及びステッピングモーターをデジタルカメラ市場、ブルーレイ市場に積極的に拡販し、順調に売上を伸ばしました。更に、大型部品・FAは、液晶関連市場の設備投資抑制の回復と自動車関連市場等に向けたODM(自社開発)新製品を中心に売上が大幅に増加いたしました。

利益の面につきましては、上記増収効果や品質改善、自動化・省力化・内製化等引続きグループを挙げて原価の低減、経費の削減等の損益改善活動が奏功し、前回公表した売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益の業績予想を上回る見通しとなりましたので、上方修正いたします。

なお、通期業績予想につきましては、第3・第4四半期において、世界的な金融危機を背景とするグローバルベースでの景気減退が予測されますので、平成20年4月23日に公表いたしました内容を修正いたしません。

2. 平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A） （平成20年4月23日発表）	百万円 34,000	百万円 1,700	百万円 2,000	百万円 1,200	円 銭 19.09
今回修正予想（B）	36,631	1,955	2,642	1,847	29.38
増減額（B-A）	2,631	255	642	647	10.29
増減率（%）	7.7	15.0	32.1	53.9	53.9
（ご参考）前第2四半期実績 （平成20年3月期第2四半期）	34,835	1,607	1,729	1,301	20.71

修正理由（個別）

第2四半期累計期間につきましては、デジタルカメラ用シャッターは、前期末からのメーカー各社の在庫調整が長引いたことにより、売上減少となりました。一方、デジタル一眼レフカメラ用鏡筒切削部品並びにブルーレイ収差補正ユニットは売上増となりました。また、モーターは携帯電話用振動モーター、高付加価値複合モーター（モーター＋ギア、センサー等）及びステッピングモーターをデジタルカメラ市場、ブルーレイ市場に積極的に拡販し、順調に売上を伸ばしました。更に、大型部品・FAは、液晶関連市場の設備投資抑制の回復と自動車関連市場等に向けたODM（自社開発）新製品を中心に売上が大幅に増加いたしました。

利益の面につきましては、上記増収効果や品質改善、自動化・省力化・内製化等の原価低減、経費削減等の損益改善活動に加え、子会社配当による外国税額控除等もあり、前回公表した売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益の業績予想を上回る見通しとなりましたので、上方修正いたします。

なお、通期業績予想につきましては、第3・第4四半期において、世界的な金融危機を背景とするグローバルベースでの景気減退が予測されますので、平成20年4月23日に公表いたしました内容を修正いたしません。

以上

各 位



平成20年10月27日
会社名 日本電産サーボ株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 卓也
(コード番号 6585 東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 坂本 博
TEL (0277)53-8817

当社の親会社 日本電産株式会社
代表者名 代表取締役社長 永守 重信
(コード番号 6594 東証・大証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成20年7月29日に公表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想並びに平成20年4月23日に公表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の第2四半期累計期間及び通期の個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 850	円銭 23.89
今回発表予想(B)	15,474	1,225	1,317	1,007	28.33
増減額(B-A)	△1,526	25	117	157	—
増減率(%)	△9.0	2.1	9.8	18.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	17,491	425	399	357	10.03

2. 平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 36,000	百万円 2,700	百万円 2,700	百万円 2,000	円銭 56.22
今回発表予想(B)	28,000	2,100	2,100	1,700	47.83
増減額(B-A)	△8,000	△600	△600	△300	—
増減率(%)	△22.2	△22.2	△22.2	△15.0	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	35,046	2,053	1,790	1,654	46.49

3. 平成21年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,000	百万円 0	百万円 0	百万円 0	円銭 —
今回発表予想(B)	14,569	△ 292	△ 183	△ 208	△ 5.85
増減額(B-A)	569	△ 292	△ 183	△ 208	—
増減率(%)	4.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	16,480	△ 296	△ 358	493	13.85

4. 平成21年3月期通期 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,000	百万円 150	百万円 120	百万円 100	円銭 2.81
今回発表予想(B)	26,000	△ 600	△ 430	△ 480	△ 13.5
増減額(B-A)	△ 4,000	△ 750	△ 550	△ 580	—
増減率(%)	△ 13.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	31,520	△ 190	△ 431	1,058	29.75

5. 修正の主な理由

(1) 連結業績予想

①第2四半期累計期間

売上高は、今般の長期化している景気悪化の影響を受け、特に北米マーケットで減少いたしました。

損益面では、日本電産流マネジメント導入を図っており、原価低減・経費削減等のコスト改善活動を取り組んだ結果、上述の売上高の減少にもかかわらず、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、当初発表いたしました数値とおりとなっております。

②通期

通期業績予想につきましても、売上高に関しましては、当社グループの積極的な営業活動の展開により、新規顧客からの受注も見込んでおりましたが、かかる経営環境の下、当社グループ製品をご評価いただくプロセスがスロー化する傾向が顕著となって参りました。従いまして売上高を保守的に見直すことにより、修正させていただきます。

上述売上高の減少見通しに伴い、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても下方修正するものです。

(2) 個別業績予想

①第2四半期累計期間

売上高は、情報通信分野に使用される高信頼性ファンモータ等が好調となりましたが、一般的には大きな伸びとはなりません。

損益面では、ベトナム新工場建設費用に加え、今後の海外展開の展望を見定めながら国内事業所の体質改善を行うためにも、構造改革等の一時費用の投入を行いました。また、市場動向を考え今後発生しうるリスク要因である棚卸資産減価引当金の追加計上及び貸倒引当金等の計上を行い、下方修正いたしました。

②通期

上記第2四半期累計期間の個別業績予想修正及び通期連結業績予想修正の要因に伴い、通期個別業績予想につきましても、修正させていただきます。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、さまざまな要因により見通しと異なる結果となる場合があります。

以 上

各 位

会社名 日本電産リード株式会社
代表者名 代表取締役社長 戒田理夫
(コード6833 大証第2部)
問合せ先 経 理 部 長 松浦正明
(TEL. 075 - 315 - 8001)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年7月29日に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）中間期の連結業績予想および平成20年4月23日に公表した同決算期の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成21年3月期中間期 連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
前回発表予想(A)	4,700	1,000	1,000	620	88円57銭
今回修正予想(B)	5,557	1,170	1,179	714	102円03銭
増減額(B-A)	857	170	179	94	13円46銭
増減率(%)	18.2	17.0	17.9	15.2	15.2
(ご参考) 前中間期実績 (平成19年9月期)	4,507	812	820	501	71円59銭

2 平成21年3月期中間期 個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
前回発表予想(A)	4,300	700	700	400	57円14銭
今回修正予想(B)	5,098	845	864	501	71円59銭
増減額(B-A)	798	145	164	101	14円45銭
増減率(%)	18.6	20.8	23.5	25.3	25.3
(ご参考) 前中間期実績 (平成19年9月期)	4,135	624	632	364	52円13銭

3 修正の理由

プリント基板・半導体パッケージを対象にした導通短絡検査装置を主力とし、微細抵抗値を計測する検査装置、配線パターンやはんだバンプの形状を光学的に検証する外観検査装置、微細電極に正確に接触が可能な検査治具（プローブ）等の開発に重点を置き、国内外でタイムリーに製品供給を行ってまいりました結果、売上・利益ともに当初予想を上回る見込みとなりました。

4 通期業績の見通し

当上半期におきましては上記のように業績は好調に推移いたしました。世界経済の減速が一段と鮮明となっている状況を鑑み下半期は不透明であることから、連結・個別ともに通期予想は現時点では据え置きといたします。

<業績の予想に関する注意事項>

本資料に記載の予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等が予想と異なる場合があることをご承知おき下さい。

以 上